



片付けを通じて住まいの悩みを解消し、暮らしを楽しむお手伝いがしたい

クローバーオフィス 代表
コレモッタ(株) 代表取締役

矢板橋 克美(やいたばし・かつみ)氏

札幌市出身。住宅情報社札幌支社長を経て、地域密着型のリフォーム雑誌の創刊に伴い7年間編集長を務め、2010年独立し、クローバーオフィスを設立。さらに昨年、高齢者の住み替えサポートなどを行う会社「コレモッタ株」を設立した。

多くの施工物件を見て
感じていたことを仕事に

矢板橋さんは、過去にリフォーム雑誌編集長として、三百軒以上のリフォーム・新築物件を訪問・取材した経験を持つ。

工事前のお客さまの悩みで必ず挙がるのが、「収納場所が欲しい」。しかし、実際に工事後、取材に何うと「二割(の家庭)は散らかっている」という。つまり、収納が作られていても、それをうまく生かすことができない。あるいは、業者側の提案がただ収納を増やすのみで、根本的な解決になっていない事例も少なくなかったという。

そういった経験から、リフォーム業者選定のアドバイスをするリフォームコンサルタントや、編集者時代に取得した整理収納アドバイザーの資格を生かして、片付けや暮らしの悩みを解決する仕事が出来ると、独立を決意した。独立するにあたり、必要な届出や事業計画書の書き方など、すべてが手探り状態だったが、編集長時代に築いた人脈が役立つ。開業前に受講した当所の創業セミナーも、取引先の経営者の紹介で知った。こうしたつながりが同社の強みでもあり、ビジネスパートナー(提携先)として顧客からの相

談にすばやく対応する。

開業後は、個人事務所として、整理収納に関するアドバイスやセミナー講師の仕事を受けていたが、そのうち一人では難しい業務や、今後需要があると感じた高齢者の住み替えサポートに対応するため、コレモッタ(株)を設立。登録制で片付けスタッフを抱えることとなった。「家庭を持つ女性にとっては、自分の時間を確保しながら働くことのできるお仕事。今後はもっと依頼を増やして、女性の働く場を提供したい」という思いもあって、法人を設立しました。

今後も広がる
片付けビジネスの可能性

片付けの相談は個人宅だけではない。膨大な資料や備品がある企業からも相談を受ける。しかし、片付けの大事さに気づいている経営者は意外と少ないという。「例えば、事務所や売り場のバックヤードなど、職場環境が常に整頓されていれば、限られている時間を効率的に使うことができ、残業時間短縮や経費削減にもつながります」と矢

板橋さんは訴える。

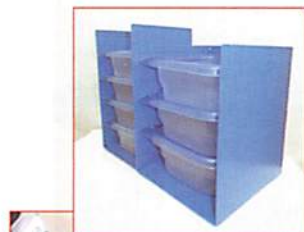
さらに今後は、成長過程にある東アジアなどの新興国におけるビジネスも視野に入れていく。「十数年後、豊かになった新興国では、今の日本と同じ「モノが溢れる」状態になるでしょう。弊社で、片付けのプロを育成し、海外などにも片付けのノウハウを広めていきたい」と片付けビジネスの持つ可能性に期待を寄せる。



暮らしによく耳を傾け、ライフスタイルにあったリバウンドのしない「片付けの仕組み」を提供

ただ部屋の中を綺麗に片付けるだけでなく、家族構成や生活の仕方など細かくヒアリングをしながら、「綺麗を保つ」ための仕組みを提供し、それぞれの家庭にあった整理収納をアドバイスする。

クローバーオフィス・コレモッタ株式会社
住所:札幌市中央区北1条西3丁目3 札幌時計台文化会館4階
HP: <http://www.koremotta.com>
TEL: 011-200-9631



棚や冷蔵庫の中をスッキリ整理できる、オリジナル収納用品の企画・販売も行なっている(写真上:ジップロックコンテナ入れ、下:調味料入れ)